

アカデメイア

西城陽中学校ホームページ

http://www1.kyoto-be.ne.jp/nisijoyou-jhs/

現在のアクセス数 65,766
(4/1現在) 随時更新しています



『アカデメイア』とは...

紀元前387年、ギリシャのアテネという都市に、当時の哲学者プラトンが学術研究を目的に創設した学校の名前です。ここでは自分の思ったこと、話したいこと、考えていることを自由に交流し、自主的な学習の場としてつくられました。後に(15世紀頃)、アカデミーという現在の学校に近い形に変化したようようです。このように本校が、生徒自らの力で自分を磨き、高める場として存在するようにと願って『アカデメイア』と命名しました。(昭和62年命名)

入学おめでとう ご入学します。

新入生の保護者のみなさま、本日はお子さまのご入学、誠におめでとうございます。

中学生の時期は、心も体も急激に成長していく時期です。その成長を見守り、支えてあげるのは保護者のみなさまはもちろんのこと、地域の方々、そして私たち教職員です。心と体のアンバランスな発達、時には自分や周囲の人を傷つけることもあります。自分との葛藤や思春期の悩みを乗り越えて、独り立ちしていくステップでもあります。保護者、地域、学校が協力し、子どもたちを見守れるように本年度も、本校の教育活動に対して、ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

さて、本校では、保護者のみなさまへ、学校の様子、生徒達の様子をお伝えするとともに、ご協力をお願いする目的で、学校だより『アカデメイア』を毎月発行してまいります。ご家庭と学校をつなぐ『便り』として、ご一読お願いいたします。

教育目標 (校訓)

本校では、次の4つのことを教育目標(校訓)としています。

- 心を育てる [礼儀・情操・自律]
- 知恵を磨く [知識・思考・創造]
- 体を鍛える [体力・健康・安全]
- 自らを生かす [希望・意欲・協力]

心を育てる...

社会生活を心豊かに送るためにも、学習や部活動、行事など、あらゆる教育活動の取組の中で、多くの人とつながり協働する力や共生できる力、社会人としてのマナーを育てていきたいと考えています。

知恵を磨く...

基礎・基本を大切に学習を進め、学習意欲の向上を図り、物事への工夫改善、創造を大切にして、将来を切り拓く力としていこうと考えています。

体を鍛える...

基本的生活習慣を大切にし、意欲的に部活動に参加して、積極的に心身を鍛え、将来を健康でたくましく生きるための土台を培おうと考えています。

自らを生かす...

自他を認め、夢と希望を持って失敗を恐れず挑戦し続け、意欲的に進路に立ち向かう力を付けさせたいと考えています。

こんな学校をめざしています。

『元気なあいさつ、授業に集中、 学校きれいで、部活も充実』

新入生に求めるもの

中学生にとって、最も大切にしてほしいことは、「目標を持つ」ことです。どんな目標でもかまいません。何の目標もなく毎日を過ごすのと、何か目標を持って生活するのでは、様々な面で大きく違います。まずは大きな目標を持ち、それにたどり着くためには今の自分には何が必要で、何が不必要かがわかってきます。そして、小さな目標を立てて、少しずつ努力を積み重ねることによって、達成感を得たり、自信を深めていってほしいと思います。

次に心に留めておいてほしいことは、「中学生としての自覚を持つ」ということです。そのために必要なことは、1日も早く中学校生活の流れやリズムをつかみ、その軌道に乗ることです。流れに乗れなかったり、外れたり、無理に向きを変えようとするれば、必ず自分自身に返ってきます。3年後の卒業のときに、本当にがんばれたなぁと思えるように、悩みや迷いや横道にそれることはあるかもしれませんが、しっかりと自分の望む進路に進んでいけるように、1日1日を大切にしたい学校生活を送って欲しいのです。

保護者に協力を願うこと

中学校生活3年間には、様々な成長があり、ドラマが生まれます。身体の著しい成長と共に、心の中には目に見えぬ大きな戦いが始まります。心の変化はわかりにくく、子ども達の身体は日々の生活でたくさんのストレスを感じ、悩み、傷つき、疲れていることも多くあります。ご家庭での様子から、何か変化や兆候を感じられたら、学校に知らせて頂ければ、たいへんありがたいです。また、学校の様子から、担任や学年教師が気になることをお知らせすることもあると思います。学校での指導の中で、ご助力を頂くこともあります。もちろん、課題面だけでなく、がんばれたことや活躍できたこともそれ以上にご報告させていただきます。思春期には、自分のことを(特に男子は)なかなか話したがるなくなります。隠し事や反抗も小学校時代とは、格段に増加します。しかし、本当の意味での自立までにはまだまだ時間がかかります。当たり前のことですが、学校・保護者・地域の大人たちが、子どもが葛藤し成長する姿を温かく、時には厳しく見守っていくことが不可欠だと思います。何卒3年間、ご支援、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

